

坂下厚生総合病院設計監理業務プロポーザル作成要領

1. 参加表明書等の作成

(1) 様式 1 (参加表明書)

- 1) 所定の様式に従い必要事項を記入すること。

(2) 様式 2 (事務所概要書)

- 1) 事務所の概要を記入すること。

(3) 様式 3-1 病院、様式 3-2 老健 (事務所の業務実績)

- 1) 事務所の業務実績を記入すること。
- 2) 業務実績は、許可病床数が 150 床以上かつ延床面積が 12,000 m²以上の病院、療養室が 100 床以上かつ延床面積が 6,000 m²以上の老健施設の新築又は増築の基本設計または実施設計業務について、平成 17 年 4 月 1 日以降に竣工した業務の受託実績を病院、老健それぞれ最大 5 件記載すること。
- 3) 2) の基準を満たす業務実績のうち、CASBEE (建築環境総合性能評価システム) による評価を受けた場合は、評価結果を記載すること (簡易版でないもの)。また認定書の写しを添付すること。

(4) 様式 4 (管理技術者の経歴等)

- 1) 管理技術者の業務実績を記入すること。
- 2) 業務実績は、許可病床数が 150 床以上かつ延床面積が 12,000 m²以上の病院で免震構造の新築又は増築の基本設計又は実施設計業務について、平成 17 年 4 月 1 日以降に竣工した業務の受託実績を最大 5 件まで記載すること。
- 3) 保有資格証明書の写しを添付すること。
- 4) 過去に携わった建築関係設計業務のうち受賞歴があるものについて、賞の名称、受賞年月、対象施設の名称、施設用途及び規模・構造、共同体的場合は構成員を記載すること。

(5) 様式 5 (各主任技術者の経歴等)

- 1) 主任技術者の業務実績を、分担業務分野 (建築、構造、電気設備、機械設備) ごとに記入すること。なお、提出にあたっては各分担業務分野 1 名とすること。
- 2) 業務実績は、許可病床数が 150 床以上かつ延床面積が 12,000 m²以上の病院で免震構造の新築又は増築の基本設計又は実施設計業務について、平成 17 年 4 月 1 日以降に竣工した業務の受託実績を最大 3 件まで記載すること。
- 3) 保有資格証明の写しを添付すること。
- 4) 過去に携わった建築関係設計業務のうち受賞歴があるものについて、賞の名称、受賞年月、対象施設の名称、施設用途及び規模・構造、共同体的場合は構成員を記載すること。

(6) 参加表明書等の提出

- 1) 作成した様式 1 から様式 5 を順番に揃え、様式 1 (参加表明書) を表紙とし、5 部提出すること。

2. プロポーザルの作成

(1) 様式 7 (プロポーザル提出書)

- 1) 提出部数 12 部のうち、1 部のみ表紙として添付すること。
- 2) 様式 8・9 については、提出者を特定することができる内容を記載しないこと。

(2) 様式 8 (設計監理業務の実施方針書)

- 1) 新病院・老健の基本構想及び業務内容を踏まえ、業務実施において特に留意すべき事項、設計チームの体制及び特徴を簡潔に記載すること。
- 2) A4 用紙 1 枚で作成すること。

(3) 様式 9 (課題に対する提案書)

- 1) 基本構想等を参考に、以下の課題に対する考え方を具体的に提案すること。
- 2) 提案にあたり建物の配置、各部門の構成及び動線、断面や階構成を示す図、外観・内部のイメージスケッチを用いることができる。ただし、模型 (写真を含む)、精密な透視図等は不可とする。
- 3) 課題については、基本構想等を参考に下記の項目について提案するものとする。

課題	枚数
①将来の発展性を考慮した土地利用計画及び施設配置、平面計画について	①～⑥の課題について A3 用紙 2 枚までにまとめること (レイアウト自由)
②患者・利用者・家族にやさしい施設について	
③機能性に優れ、変化に対応できる施設、職員に魅力ある施設について	
④災害や様々な危機に対応できる施設について	
⑤地域社会への貢献、環境保全への取組について	
⑥経営の健全化と経済性が調和した施設について	

(4) プロポーザルの提出

- 1) 作成した様式 8 から様式 9 を順番に揃え、提出部数 12 部のうち 1 部については様式 7 (プロポーザル提出書) を表紙とし、その他の部数については白紙 (A4 用紙) を表紙とし、11 部提出すること。
- 2) A3 版の様式については、A4 版に折って綴じること。